

びわ湖かがやき ★カンパニー

びわ湖のほとりで「キラ」っと輝く滋賀県
中小企業家同友会メンバーの事業所、
商品、サービスをご紹介します。

<インタビュー>
取材まとめ：八木真紀（有限会社ウエスト）



vol. **58**
2016年4月発行

株式会社 ハートコンピューター

昭和61年の創業以来、酒造業向けのパッケージシステムを販売する株式会社ハートコンピューター。変わり行く酒造業界を支えながら、企業としても成長し続けていくにはどんなことが必要なのか。専務取締役の高橋玲子さん取材しました。（取材／2月23日）

やる気と行動力を受け止め TRYのフィールドへ導く

明るくエネルギーギッシュな高橋専務ですが、入社へのきっかけとは。また、社長が専務に重要なポストを任せられたのは、どんな理由からだと思われませんか。
高橋 語学力を生かした仕事を経て、社長にお声がけいただいたことが入社へのきっかけです。しかし入社以来、私は「働く環境」について、会社とぶつかることが多かったですね。多くの外国人に接する職場では、何語であつても互いに自分の考えや文化背景を伝えないと進まないことがそれまでの当たり前でした。一方、日本の企業で同地域出身社員が多い当社では「なぜ？」に対しては「会社の方針です」、「顧客のためです」というやりとりが当たり

前でした。

当社もこれまで順風満帆だったわけではありません。突然取り組んでいた仕事在中断されたり、厳しい業務環境におかれたりしたこともありましたが、そんなときでも「会社の方針です」との間答は続き、「手伝ってくれた仲間」に迷惑をかけたくない」という気持ちだけで何とか仕事を続けていたものの、「会社の方針です」との間答は続き、「社員を大切にしない」という反発心が募るばかりでした。

しかし社長は、反発ばかりする野党のような私に対し、「そのエネルギーを反対側（与党）にもっていったら、きっと会社は変わる」と思っていたにいたっていたようです。混乱期に誰もが手が回らなかった仕事を「私がやります」と言ったとき、社長は開発部の部長代理という役割を与えてくださりました。

驚きながらも管理職に就いてみると、会社側の実情を理解し始め、それまで不満な態度を見せるばかりで、何がやりたいのかを伝える自分の原点を忘れていたことにも気づき、社長に謝りに行ったこともありました。

3か月先の未来を作る

現在の会社の雰囲気はいかがですか？ 社内活性化に向けた

進行中の取り組みなどは。

高橋 私の得意技はH o o k i n g（針をひっかけて引くイメージ）です。背中を押す（P U S H）や、大きな力で引く張っていく（P U L L）は得意ではありません。自分の人生は自分の足で歩くものであるから、一歩踏み出す勇氣を持った社員には、小さな力であと一歩先までH o o k することを心がけています。一歩踏み出したら、違う景色が見えることを自ら経験できる社員が一人でも多く育ってほしいと願っています。その流れを見つけ出すことも自分の仕事です。

2001年よりスタートした社内報「生一本」がこの春で40号を迎えます。近年では若手社員が中心になって取り組んでいます。企画から発行までの制作期間に学ぶことは多く、次号はお客様の取り組みを取材するという



旺盛なチャレンジ精神、圧倒的な求心力を持つ高橋専務を重用し、持ち味を引き上げ、会社を活性化させる方向へ導いた平井社長（左）「現在、社員は30人超。50人規模にするためには、私たち一人ひとりの人格と品格を磨くことが必要」。

「これからも“社員を想う気持ち”から派生する、さまざまな“やりたいこと”を実現していきたい」と高橋専務（右）



社内報「生一本」制作スタッフと



社内で行われていた新入社員研修の様子。今まで時間がとれなかった中堅社員の研修も昨年よりスタート。「苦しいときに会社を支えてきたベテラン社員たちにも、ようやく学ぶ機会が与えられたことは本当にうれしい」と話す高橋専務。

一歩を自ら踏み出してくれました。
また、昨年末より一年を4分割して決算をする「クォーター管理」を提案しました。これまでも「お客様への提供品質と納期を守る」ための取り組みはしてきましたが、「計画どおりに進める」価値観から先には進むことができませんでした。そこで「3か月先」という少しだけ先の未来を自ら作るのだという意識を持つ。積極的に3か月先の未来を読む。ということに注力しました。一年後の仕事状況をイメージすることは難しくても、3か月先であればこれまでの経験と勘でイメージすることが出来ます。でも、皆で読んで未来は読み間違えることはあります。3か月しか猶予がないのだから、予測した未来と違う状況になりそうなら、読み間違えたかも！想定外の事象

が発生しつつある！と声を上げることがためらっている場合ではありません。3か月で達成したいシナリオが共有できていることで、リカバー、リルートも早くなります。どんな情報や能力があれば未来を自分たちのなりたいたい姿に近づけられるのか、次の四半期では工夫してもっと上手になろう！と意気が上がり、一年後、数年後の未来を皆がワクワクして実現できる会社になりました。

社員と会社をつなぐ役割 統制された会社への確立へ

今後、取り組みたいと考えておられることは。

高橋 私には、やりたいことが常にあふれ出ています。「クォーター管理」も会社やお客様のために成長したいという社員の誠実さ、希望をH O O Kしただけです。皆の一步踏み出す力が集まって大きな推進力になれば、また次の私のワクワクが生まれます。

今は、データの一括管理と循環システムをつくること。専務になって気づいたことは、データの循環の重要さです。当社の販売管理システムであれば、出荷のための伝票一枚一枚が大切な最小データなのです。ならば、その最小データの集積によって上位者が決定した方針を遂行し会社が良くなり、働く

人への遣り甲斐や価値として可視化されるような仕組みはできないものだろうか。昨今ではビッグデータなど外部情報とのコラボレーションもできるようになりました。社会や企業組織を構成する様々な立場の人の想いの循環が、データの循環として表され、お客様と共に発展できるようなシステム提供をしたいというのが私の夢です。

専務という立場になりましたが、会社が継続でき、繁栄していけるのは「社員の力があってこそ」、「社員が働きやすい会社にしたいたい」という想いはずっと変わっていません。現場を歩き、社員の目線で考えられる私だからこそ、社員が納得できる形で会社を盛り立て、社長には経営に専念していただくことが私の役割だと思っています。



株式会社 ハートコンピューター
長浜市木之本町木之本1565
TEL : 0749-82-5650
<http://www.heart.co.jp/>

「びわ湖かがやきカンパニー」に掲載希望の会員様は、同友会事務局までご連絡ください。お申し込み多数の場合は、理事会等で掲載順を決めさせていただきますのでご了承ください。 ▶ **滋賀県中小企業家同友会事務局 TEL 077-561-5333**

春先・ゴールデンウィーク イベントのお手伝い!

ステージの組み立てから 細かな備品までイベント運営をお手伝い 「困った!」を解決します。

イベントチーム TEL 0749-42-8778

SHIGAKENKI 滋賀建機株式会社
〒529-1314 滋賀県愛知郡愛荘町中宿160-1
TEL 0749-42-8668

大型重機から小物機械、現場ハウスや足場まで、土木、建設現場に必要なものなんでも準備させていただきます。

SHIGAKENKI 滋賀建機グループ

テント1つからお気軽に